

新政権の臨時国会で

国民の要求実現へ政治が一步前に動く



はたの君枝
元参議院議員 (神奈川選挙区)

新時代、あなたとつくりまします

- 労働者派遣法の「抜本改正」／雇用保険の失業給付期間延長／失業者への生活援助拡充／最低賃金は時給千円以上。
- 後期高齢者医療制度
- 消費増税は反対／中小企業への金融、仕事確保など支援強化。
- 即時廃止を／庶民増税なしの「子ども手当」
- 高校（私学含む）授業料無償化。

「建設的野党」を伸ばしてください

問題点はただす

●**沖縄・普天間基地の「国外・県外」移設先延ばし**
鳩山首相が総選挙で「県外・国外へ」と公約した問題を指摘。沖縄県民の「たらいわましを許さない」という意思にそって「県外・国外」移設を米側と交渉すべきと迫り、無条件撤去を求めました。

●**後期医療制度の廃止先送り**
民主党の「廃止」の公約から後退している問題を指摘。「国民の生活第一」というなら、先送りしないですぐに廃止を迫りました。

●**「派遣法改正」に一言もふれず**
首相の所信表明演説で、「派遣法改正」に一言もふれないため、「そんな姿勢でいいのか」と指摘。首相は「改正案」の通常国会提出を言明。「非正規切り」問題では、「企業に申し入れたい」と約束しました。

●**解釈改憲をねらう内閣法制局長官の「答弁禁止」**
「国連決議があれば海外での武力行使は可能」という民主・小沢幹事長の主張を通すため、これに反する内閣法制局長官の答弁を禁止するのは重大問題と指摘しました。



- 肝炎対策基本法
- 原爆症基金法
- 生活保護の母子加算復活
- 中小企業金融円滑化法
- 郵政株式売却凍結
- 日米核密約の事実判明へ

良いことには協力・推進

肝炎対策基本法、原爆症基金法が成立したこと、原告団・弁護団の命がけのたたかいの成果です。国民が声をあげれば政治は変わります。

日本共産党は「命の問題を最優先に」と新政権に強く求めてきました。

核密約問題は、日本共産党がいつかんと追及。米国で入手した「核密約公文書」を新政権に提供、協力してきました。

一方、自民、公明両党は政治を逆行させる立場から新政権攻撃に終始しました。

民主党中心の新しい政権のもとで、最初の臨時国会が閉会しました。日本共産党は、「政治を変えたい」という国民の期待にこたえらるとともに、新政権への国民の不安や批判を代弁し、問題点をただし、日本の政治を前にすすめる「建設的野党」としてがんばりました。

日本共産党は国民の声を代弁し「建設的野党」の仕事をしました



参議院比例代表は「日本共産党」と書かれた票がすべて議席に結びつきます

参議院比例代表は衆議院と異なり、「全国一つの選挙区」です。

参議院比例代表予定候補の一人。(東京、神奈川、千葉、山梨の一都三県が活動地域)



田村智子
元国会議員秘書

日本共産党は、市田忠義書記局長・参議院議員をはじめ5人(現職3人、新人2人)の予定候補をたてて比例5議席をめざします。

参議院選挙制度説明

1回目 選挙区の投票は候補者名で
2回目 比例代表の投票は政党名で(個人名でも投票できます)

